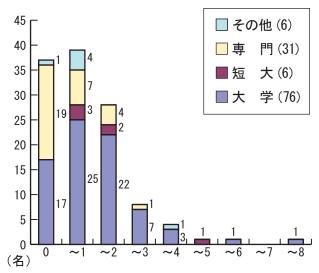
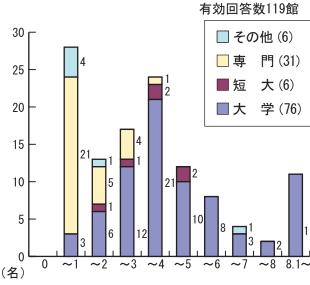
* * * グラフでみる実態調査 * * *

正規職員・専仟



*専任職員の平均は、大学1.5名・短大2名・専門0.6名・その他 1.3名だった。昨年度との比較では、いずれも僅かながら、 大学、専門は減少し、短大は増加している。その他は変化な し。大学と専門は年々減少傾向にある。

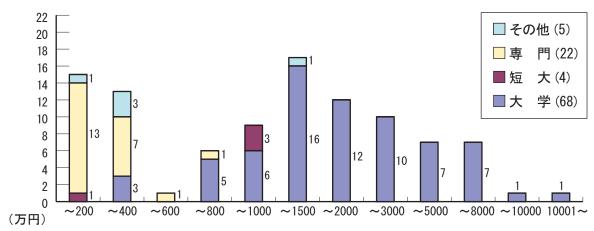
全職員数



*全職員数の平均は、大学5.1名・短大3.8名・専門1.5名・その他2.2名だった。昨年度との比較では、大学と短大とその他はほぼ変わらないか僅かに減少しているが、専門のみ若干増加している。しかし専門も専任職員の平均は減少しているため、正規職員以外の雇用の増加であると予測される。

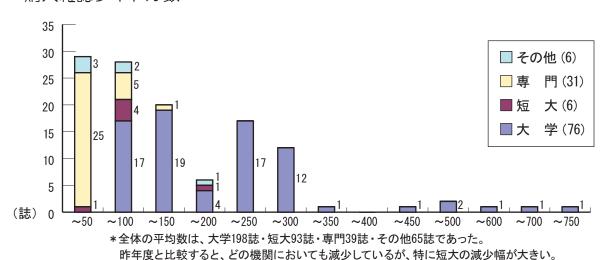
年間資料購入費

有効回答数99館



購入雑誌タイトル数

有効回答数119館

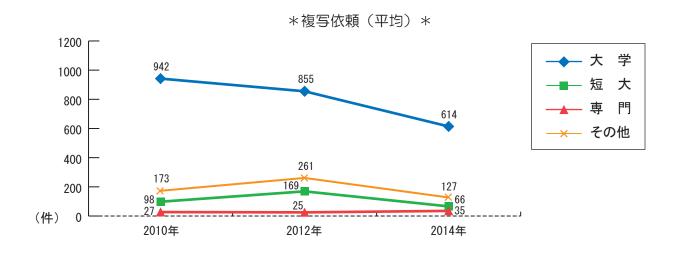


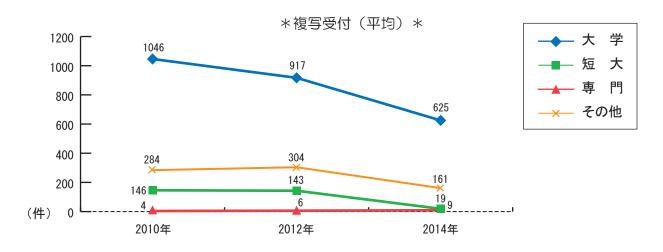
購入雑誌タイトル数平均値

年度	2009		2011		2013		2014	
	有効回答数	タイトル数	有効回答数	タイトル数	有効回答数	タイトル数	有効回答数	タイトル数
大学	74	411	76	241	78	210	76	198
短大	10	135	10	129	7	117	6	93
専門	34	124	34	48	36	42	31	39
その他	7	359	7	76	6	73	6	65

^{*} 平均値は小数点以下四捨五入

相互貸借





有効回答数

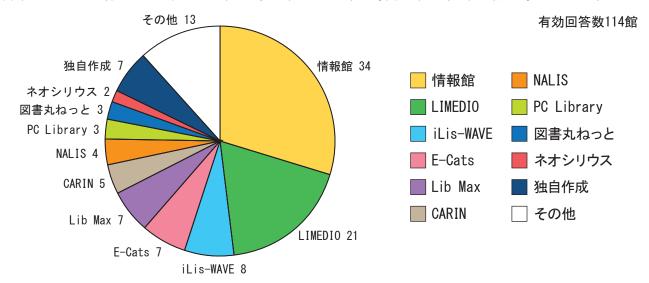
	大学	短大	専門	その他
2010年	75	10	27	8
2012年	79	8	31	6
2014年	76	6	31	6

^{*} 平均値は小数点以下四捨五入

*専門学校以外では、電子公開の普及が 進んでいるためか複写受付、依頼共に 件数が大幅に減少している。

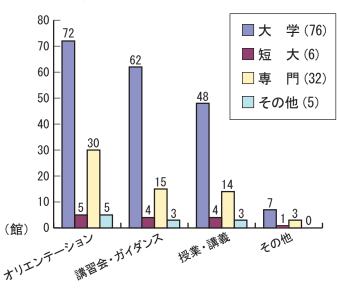
図書館システム

図書館システムは全体の92%にあたる114館(大学78館 短大6館 専門24館 その他6館)が導入している。

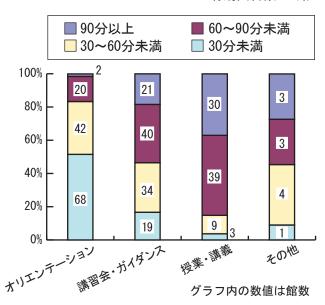


*上位2つのシステム(情報館、LIMEDIO)で約50%であり、前回調査に比べると減少ではあるが約半数を占めている。 その他には、1館のみの採用システムを含めている。

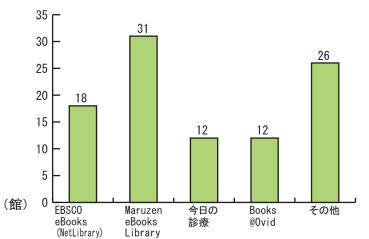
利用教育



有効回答数119館



電子ブック導入状況



有効回答数41館

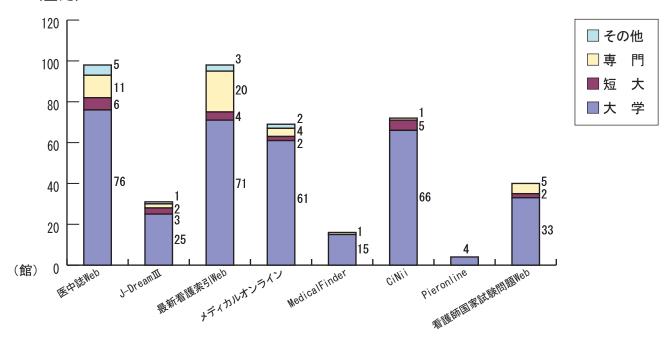
- * 設問から導入館が10館以上の4種と、10館未満のものの合計をグラフとした。
 - Maruzen eBooks Library (31館)、EBSCO eBooks (NetLibrary) (18館)の利用が多い。設問にあるその他の電子ブックの導入数は26館であった。グラフに含まれない自由回答の「その他」には15種類の電子ブックがあり、うち14種は1館のみ導入しているものである。
- *電子ブックの導入館はほとんど大学であった。大学以外では、Maruzen eBooks Library (専門1館、その他1館)、メディカルオンラインeBooks Library (専門1館)であった。
- *電子ブックを資産にしている導入館は23館であった。

電子ジャーナル・データベース導入状況

有効回答数113館

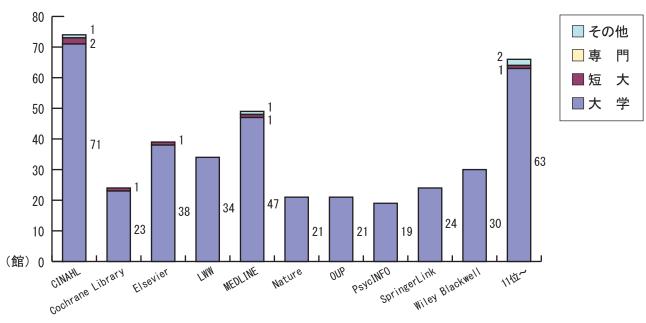
二次資料データベースは113館(大学76館 短大6館 専門26館 その他5館)が導入している。 電子ジャーナルは77館(大学71館 短大0館 専門5館 その他1館)が導入している。 いずれも館単独ではなく大学本部・本館の予算で導入しているものも含む。

(国内)



*国内データベースでは医中誌Webと最新看護索引Webの利用が、ともに98館と多い。 ついで CiNii(72館)、メディカルオンライン (69館) の導入が多い。 グラフに含まれない自由回答の「その他」には12種のデータベースがあり、うち6種は1館のみ導入しているものである。

(国外)



*国外電子ジャーナルは総数が43種類と多いため、設問から導入数の上位10位と11位以下合計をグラフとした。 国外電子ジャーナルではCINAHL (74館)、MEDLINE (49館)の導入が多いが、MEDLINEの導入館は減少傾向にある。 11位以下のうち、設問にある電子ジャーナルの導入数は66館であった グラフに含まれない自由回答の電子ジャーナルは23種あり、うち13種は1館のみ導入しているものである。